

令和2年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

・昨年度は2学年のみが目標値を上回っており、今年度は3学年が目標値を全項目、上回った。3学年には基礎的基本的な学力が身に付きつつある。3学年は休校中に学習動画も多くアップしたので、それも効果的だったと考えられる。特に、観点別では数学的な見方考え方以外が目標値を上回った。丁寧に指導した結果であると考えられる。

(2) 課題

・数学への関心・意欲・態度の数値が低いので向上を目指す。特に第2学年は目標値よりも大きく下回っているため、より一層関心・意欲・態度を引き出すための工夫が必要である。

・各学年の結果を観点別に見ると、第1学年は目標値に対して数量や図形についての知識・理解が一番低く、次に数学的な見方・考え方が低い。第2学年は目標値に対して数量や図形についての知識・理解が一番低く、次は数学への関心・意欲・態度が低い。第3学年は数学的な見方・考え方が目標値とほぼ同じで、それ以外は目標値を上回っている。数量や図形についての知識・理解の向上が必要であり、また、関心・意欲・態度のポイントがその後の成長率に関係がありそうである。学年ごとに取り組むべき課題が異なるので、学年ごとに優先して改善する内容を設定する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和元年度結果	平成30年度結果	平成29年度結果
第1学年	目標を下回っている。	/	/
第2学年	目標値を下回っている	目標値を下回っている	/
第3学年	目標値を若干上回っている	目標値を若干上回っている	目標値を若干下回っている

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている	目標値を下回っている

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
目標値を若干上回っている	目標値とほぼ同等である	目標値を若干上回っている	目標値を若干上回っている

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> こまめに机間指導、小テスト、中テストを行い、基礎基本を定着させる。 学習内容を身の回りのものと関連をレポートにより考えさせる。 ICTを利用して、見やすい授業になるように工夫する。 中テストの結果が次のテストに向けて学習調整がしやすいように出題の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> レポートにより、自分の考えをまとめたり、説明したりする能力を身に着けさせる。 文章を読み取り立式する練習、式を和訳する練習を繰り返し行い、テストでもそれを問うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に小テスト、中テストを行い、単元テスト、定期考査に向けて、学習調整させる。 解答の時間を待つのではなく、間違えを恐れず、自ら解く意識を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語を答えるだけでなく、用語の説明ができるような指導、テストづくりをする。 基礎計算ができるだけでなく、計算方法を説明できるように指導する。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を身の回りのものと関連づけて、関心・意欲を高める。 定期的に小テストを行うことで、達成感を得させたり、次に向けての課題を明確にさせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の解答が考えられる課題を提示し、多様なアプローチを考えさせる。 ペアワークやグループワークを通して、自分の考えをまとめて表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の内容を振り返って繰り返し練習することで、学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最初に既習の単語を確認する時間を設ける。 定期的に小テストやプリント学習を行い、復習できるようにする。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と数学を結び付けられるようにして、関心・意欲を高める。 定期的に学習動画をアップロードする。 	<ul style="list-style-type: none"> 物事を示すことに難色を示す生徒が多いため、道筋をしつかり立てさせて問題を取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復練習を多く行えるように、教科書に準拠した副教材を使用し、復習を中心に行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で用語をしつかり確認する。計算方法の確認も随時行う。 単元テストでは、用語の確認も行い、知識の定着を図る。